

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	下水道台帳維持管理事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	下水道建設課				
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進	主管課長	池田 輝昭				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	下水道施設利用者	意図	下水道（汚水）管渠等施設の整備状況を正確に把握するため、下水道施設データを台帳化し管理事務に役立てる。
事業内容	下水道施設及び民間での宅地造成により整備され移管を受けた下水道施設（本管、公共汚水樹等）の諸データ（位置、口径、管理等）を下水道台帳に反映する。			
事業開始から現在までの状況変化	公共下水道台帳は、下水道法に作成及び保管を義務付けられており、昭和58年に公共下水道が整備開始された以降随時補正している。 平成21年度から、紙ベースの台帳を電子化し現在に至る。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	下水道汚水管路延長	494	509	527	Km	↑↑↑
②	補正対象管渠延長	27.37	14.61	18.08	Km	↑↑↑	
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
市事業、土地区画整理事業及び民間宅地造成により整備された下水道施設のデータを速やかに下水道台帳に反映させる必要が生じる。

事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	14,557,260	12,404,010	13,762,400
事業費(b)(円)	13,804,260	11,374,260	12,420,000
うち一般財源	13,804,260	11,374,260	12,420,000
職員給与費(c)(円)	753,000	1,029,750	1,342,400
人役・職員(人)	0.10	0.15	0.20
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)			
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	新設下水道施設の情報を速やかに台帳へ反映させる。特に区画整理事業中の下水道台帳の整備の正確かつ迅速化を行う。	③取組の課題	新台帳に導入する属性の検討が必要である。
②今年度(H29)に実施した取組	区画整理事業地区の下水道台帳の問い合わせが多いことから、台帳補正の正確かつ迅速化を業者と検討した。	④今後(H30以降)の改善計画	下水道台帳と給水台帳を統合することで、経費削減等の合理化を図りたい。